

第177号

平成24年10月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

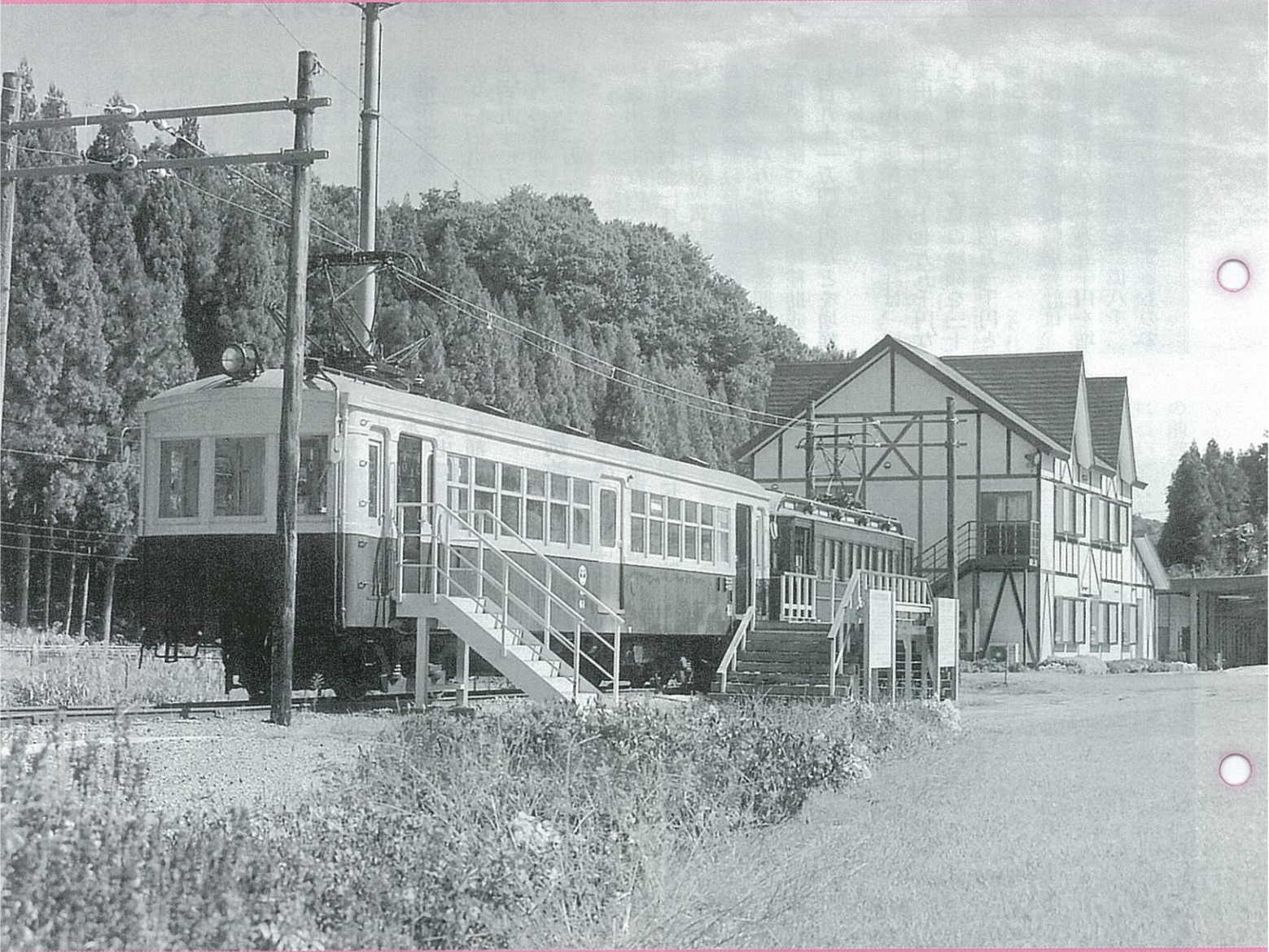
E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

加茂市



議会だより



〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 常任委員会の審査から …… (3)
- 10人が一般質問に登壇 …… (4)
- ゆきとどいた教育を採択 …… (7)
- 意見書を提出 …… (7)

さわやかな 秋晴れ

(冬鳥越スキーガーデン)

一般会計補正予算を可決

後期高齢者肺炎球菌 ワクチン接種助成費など

九月定例市議会は、十九日から十月二日まで会期十四日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算など市長提出議案十六件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、認定、同意しました。また、議員提出の意見書五件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は十二号補正で二千七百五十一万九千円、十三号補正で七百九十一万四千円を増額し、予算の総額を百四十一億六千九百三十二万二千円とするものです。

歳出の主な内容は、税外収入過年度還付金一千六百万円、中小企業金融対策費一千八十万円、地域集会施設整備事業費補助金四百二十八万九千円、後期高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成費七百九十一万四千円などを増額するものです。

国民健康保険特別会計は、諸支出金三千六百七十七万五千円などを増額し、予算の総額を三十三億五千八百三十四万一千円とするものです。

後期高齢者医療特別会計は、諸支出金百八十七万五千円を増額し、予算の総額を二億八千二百六十三万八千円とするものです。

介護保険特別会計は、諸支出金三千三百六十七万七千円を増額し、予算の総額を二十八億六千二百九十九千円とするものです。

水道事業会計は、収益的収支の支出で営業費用百四十六万六千円を減額するものです。

条例改正

防災会議条例の一部改正は災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の所掌事務に地方公共団体の長の諮問に依りて防災に関する

重要事項を審議すること等を追加するものです。

災害対策本部条例の一部改正は、災害対策基本法の改正に伴い、引用条項の改正を行うものです。

規約の変更

新潟県後期高齢者医療広域連合規約は、本年七月九日に住民基本台帳の一部を改正する法律等が施行され、外国人登録原票が閉鎖されたことを受けて、現



秋の実り（市民福祉交流センター付近）

在、新潟県後期高齢者医療広域連合規約中の別表にある「外国人登録原票」の表記を削除するため、規約の一部を変更するものです。

人事

定例会初日の本会議で、九月三十日及び十月四日に任期満了となる教育委員会委員に、三浦伸一氏（五番町、56歳）、永井榮子氏（栄町、76歳）の選任について同意しました。

また、固定資産評価審査委員会委員に、古川良二氏（青海町二、80歳）の選任について同意しました。

水道決算

平成二十三年度水道事業会計決算で、収益的収入額が収益的支出額に対して不足する額は、六千七百七十四万五千五百八十七円となりましたが、当年度分損益勘定留保資金によりカバーされます。

また、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、一億三百七十七万八百六十七円となりましたが、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんするものです。

定例会日程

- 9月19日 本会議・全員協議会
- 20日 本会議
- 21日 本会議
- 24日 連合審査会・全員協議会
- 25日 産業建設常任委員会
- 26日 社会厚生常任委員会
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 水道事業会計決算審査特別委員会
- 10月2日 本会議・全員協議会



委員会の審査から

各委員会に付託された議案は、9月25日から9月28日の間に各常任委員会及び特別委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、認定、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

九月二十五日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

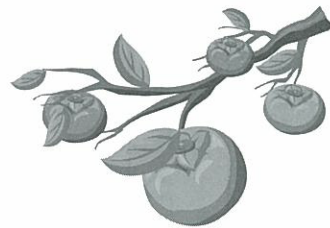
社会厚生常任委員会

九月二十六日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案五件について、説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

九月二十七日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案三件について、説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。また、「ゆきとどいた教育」

の前進をもとめる請願など三件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。



中学校武道授業剣道（下条体育センター）



中学校武道授業合気道（下条体育センター）

水道事業会計決算 審査特別委員会

定例会初日の本会議において設置された特別委員会は、七名の委員で構成され、直ちに樋口（博）委員長、中野副委員長を選出して、九月二十八日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

審査にあたっては、平成二十三年度水道事業会計決算書及び関係資料に基づき説明を受け、質疑、討論がなされ、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

加茂市の災害対策及び高齢者の安全確保等について

開明の会 田沢弘一 議員

質問 ① 災害に備え、一日も早く特別防災救助隊の設置を急ぎ、市民には安心感を持っていただくために情報として共有していく必要があると思うが考えを伺う。

② 平成二十一年三月の広報にもおいて、全戸を対象とする防災同報無線の検討に入るとあった。二十二年三月にはその記載がなく、以後エリアメールの活用を述べているが、同報無線の検討は必要がなくなつたとの見解なのか。

③ 市内の最も遠いところで四百円程度を上限として七谷方面の市民バスの料金の見直しが大

市政の内容を聞く

一般質問

九月定例会では初日から十人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を問いただ

しました。その要点をお知らせします。



9月定例会本会議

洪水災害の予防管理について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 加茂川の抜本的改良計画はどうなっているのか。周辺環境に見合った改良計画が組まれたのか等々、中州撤去の工程とあわせて、市内全河川の抜本的改良計画について伺う。

答弁 ① 信濃川下流部については、関屋分水路の掘り足りな

が大きくなり、費用対効果が妥当ではないと考える。今後も市民の皆様にはエリアメールを中心にした情報伝達を行っていきたいと思う。

③ 新潟交通観光バスと競合区間のある新飯田線の利用料との不均衡の問題、蒲鉄時代から通算すれば、十五年間も据え置きになっていて、きょうのところは意見として承っておきたい。

広報かもについて

新政クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 広報かもを地方自治法にのっとり誠実に発行していただきたいと思うかがか。

② 大阪維新の会が、教育行政の地方分権化を提唱した。教育委員会制度を廃止し、首長が主導する体制への転換を打ち出した。維新の会の提唱に対して、市長は教育委員会制度のあり方を廃止論も含めていかが考えて

した。下流部の堆積土砂については、県は半分しか撤去しない計画であるが、かねてより全部撤去するようお願いしている。下条川については、県の計画では信濃川合流点から新川一号橋上流までが下流工区で、河床掘削と堤防かさ上げの計画である。また、上下条の天ヶ沢橋下流から加茂大平川合流点までが上流工区で、河道拡幅、掘削の計画になっている。下流工区については、県の堤防かさ上げ三十歩の計画に対し、少なくとも三歩の堤防かさ上げと堆積土砂の全部撤去を県知事に要望している。

大正川については、県に排水ポンプの増設を早急に行うよう要望している。

布施谷川については、県に下流部の堤防かさ上げと排水ポンプの大幅な能力アップを要望している。

いるか。

③ 教育委員会は、原則として都道府県、または市町村における独立の機関であり、知事または市町村長のもとに属してないものである。したがって、議会における教育委員会の答弁も原則として教育長が行うべきだと思うかがか。

答弁 ① 広報かもについて重

詳しくは会議録で

九月定例会の会議録は、十一月下旬に発行予定です。図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各「コミュニケーションセンター」でご利用ください。なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになります。

要なことは、発行日よりその内容である。私が執筆している記事は、現在の加茂市政の状況を市民の皆様方に十分理解いただくためのものである。

② 市長は統轄権を持っていないので、教育委員会を廃止しなくても、市長がしっかりしていればぶぐあいは起こらないと思っ

③ 市長には地方公共団体の首長としての統轄権があるので、教育行政についても市長である私が答えるべきことは私が答えることになる。

加茂市の財政について

新政クラブ 高井 保 議員

質問 ① 財政力指数が低く、なおかつ基金が枯渇寸前なような加茂市が、それでもさん然と輝くまじと言えるのか。

② 美人の湯会計を特別会計に戻すことや風呂つきコミュニティセンターや、上町コミュニティセンターのあり方、バス運営等これら全て税金で賄われていることを念頭に、効果のある運営ができるように事業の仕分けや再確認をお願いしたいが所見を伺う。

答弁 ① 財政力指数が悪いということは、市の財政状況が悪いということでは全くない。基準財政需要額と基準財政収入額の差は一円の違いもなく、普通地方交付税として国から市町村に交付されるので、全く問題ない。地方交付税の交付団体においては、財政力指数が高い市ほど財政は厳しく、貧しいということになる。加茂市の財政が豊かなのはこのためであって、財政力指数が低いほどそのまちな財政は豊かであると考えて間違いない。

また特別会計に移す必要は全くないと考える。
常日ごろから市民の皆様お一人一人のおっしゃることをよくお聞きしてその指導に従い、

ブックスタート事業について

大志の会 滝沢茂秋 議員

市民の皆様お一人一人を大切に、最高に幸せにすることを根本とする市政を推進してきたし、今後もそのようにしていきたいと考えている。

質問 ① ブックスタートは、

各家庭で乳幼児と保護者が絵本を開くことにより心触れ合う時間を持つ最初のきっかけにしたい。子育て支援の有益な事業であり、その後の情操教育にも大変効果の高いブックスタート事業をぜひ導入していただきたい。

② 肺炎球菌ワクチンの予防接種は、肺炎球菌性肺炎の重篤化を防ぎ、医療費の経済的評価も高いということから、加茂市においてもぜひ高齢者に対する肺炎球菌ワクチン予防接種の助成を実施していただきたい。

③ 現在までの紙すき技術保存振興事業進行状況と残り数カ月に行う事業内容を聞く。

答弁 ① 絵本は親から肌のぬ

加茂市の伝統織物「加茂縞」の復活と伝承について

大志の会 保坂裕一 議員

② 今年度からでも高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に対して助成を開始したいと考えている。本来であれば、無料にしたいところであるが、やむを得ず後期高齢者のみを対象とし、その助成額も広域連合からの三千万のみとしたいと考えている。

③ 三月まで十名の方が紙すきの技術指導を受け、四月からは加茂紙をつくる技術を磨いているところである。

質問 ① 加茂縞は次の世代に残すべき、伝えていくべき遺産だと考えている。加茂縞の復活について考えを聞きたい。

② 加茂縞の復活がかなった後に現在、紙すき技術保存振興事

機織り体験コーナーを設置するなど、アイデア次第では集客施設になる可能性もあるのではないかと考えるが所見を伺う。

答弁 ① 現在、紙すき技術保存振興事業を行っている。それに加えて、さらに加茂縞の製造技術の保存、振興を目指す事業を行うことは、なかなか難しいものと思われる。また、織機をはじめ、加茂縞をつくるために必要な道具もそろえなければならず、その費用も多額になるものと思われる。現在の財政状況

福島区の年配者を元気づける買い物等支障の解消を図れる市民バス運行について

民主党 森川 豊 議員

質問 ① 福島区の一部世帯より、買い物用事が不自由との話である。不定期バスの随時運行について検討をいただきたい。

② 芝野五番の市道機械用水横線と市道芝野団地線六号の丁字路で前川水路から通称中沢水路に分水されて流下する箇所は、集中豪雨時に必ず支障が出る。安全な通行がかなうよう検討をいただきたい。

③ 芝野五番の市道機械用水横線沿いの排水路が国道側にあり、下条川右岸堤防の方向に流下している。下流の一部はまだまだ土水路のため、降雨のたび法面が崩れ排水路をせきとめるので、周辺道路は広範囲に冠水し、住宅地にも被害を与える。現地調査の上、検討をいただきたい。

から、その対応はなかなか難しいものと思われる。

② 旧協栄信用組合加茂出張所の建物は、商店街のほぼ中央に位置していることから、将来的には二階を桐たんすや建具を展示するスペースにしてはどうかとの構想も考えていた。そのためには、現在行っている紙すき技術保存振興事業の進展を見きわめる必要がある。また、改装等に係る費用も必要となることから、慎重に検討しなければならないと思っている。

答弁 ① 子ども医療費助成の拡充でお金がかかるので、新規の市民バスはちょっと待たざるを得ないことになった。状況が許すようになったら、長福寺、都ヶ丘方面の路線を開設することになるが、福島方面をその中に入れる場合は、日立ニコトラ

ンスミッション(株)の工場があるため、バスに乗り切れなくなるおそれがある。日立ニコトラ

② 詳細に調査の上、改良が可能なか検討していきたい。

③ 現地調査の上、検討していきたい。

加茂市における防災対策について

日本共産党 亀山重光 議員

質問 ① 昨年六月議会で、洪水災害時の行動要領骨子、大地震災害発生時の行動要領骨子を明らかにして、特別防災救助隊を常時組織するとしていた。行動要領の詳細と特別防災救助隊の現状がどうなっているのか。

② これまでも何度か加茂市地域防災計画の見直しを求めてきたが、昨年の六月議会での答弁からすると、見直しが絶対必要と思われるので見解を聞く。

③ いまだ市民にハザードマップは公表されていないが、いづごろ公表されるのか。

答弁 ① 組織の形として具体的に考えてみるのであるが、今のところどう考えてみても、指揮命令系統が昨年の七・二九水害のときの体制より悪いものにはかならないので、いい考えが浮かぶまでは今のままがよいと考えている。

② 防災対策で重要なのは、実際にいかに臨機応変、柔軟に対応するかということであり、分厚い防災計画を手にとって対応することではないと思う。災害対策本部中央指揮所の整備等の状況に従って、必要であれば見

経費削減と省エネルギー化について

開明の会 浅野一明 議員

質問 ① 平成十三年に小泉内閣が出現して以来、国は大幅な地方交付税の削減を行ってきた。このような状況に対応するため、加茂市は経費削減の重要な施策として市職員の人員削減を行ってきた。人件費削減以外の経費削減方法を検討中であれば聞きたい。

② 省エネルギー化と環境保全は全世界的な流れで、政府の施策もそれに沿ったものが続々と考えられる。加茂市でも有利に利用できる施策があれば、それを活用していくべきと考える。

経費削減の方策としてESCO事業を提案するが、今後の検討課題に加えていただけるか。

答弁 ① 好ましいことではないが、今後もさらに人員削減を

も、堤防のかさ上げにより、浸水想定区域図をどうつくるか十分検討していきたい。したがって、有効な浸水想定区域図ができるにしてもその後である。

③ 現在、国が信濃川の浸水想定区域図の見直しを行っているので、その結果を見て再度検討していきたい。加茂川と下条川

① 平成十三年に小泉内閣が出現して以来、国は大幅な地方交付税の削減を行ってきた。このような状況に対応するため、加茂市は経費削減の重要な施策として市職員の人員削減を行ってきた。人件費削減以外の経費削減方法を検討中であれば聞きたい。

② 私も特に自然エネルギーや省エネルギー対策に強い関心を持っているが、このような転換期において、行政の首長としての心構えは、思考は先進的に、行動は慎重にということだと考えている。ESCOのような新しいことについては、じっくりと構えて、ほかの多くの自治体がやる結果をよく見きわめることが肝要と考えている。

防災、減災対策について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 橋、高架道路、河川管理施設、上下水道施設等の耐用年数に至るのは、国土交通省のデータによれば、下水道施設を除き二〇一九年度には、ほぼ二五%に至り、二〇二九年度に

は五一%が老朽化に至るといふ数字が出ている。

新潟県や加茂市における五十年以上の社会資本の総点検について尋ねる。

② 文部科学省の調査で、二十

12月例会 定例

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、十二月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

三年度把握した小中高のいじめは七万二千三十一件に上る。その中で自殺者は二百人に達し、前年度より二八・二%ふえ、深刻な状況である。いじめは一〇〇%いじめめる側が悪いとの認識である。加茂市におけるいじめ撲滅に対する方針を尋ねる。

答弁 ① 加茂市の十五歳以上の橋は、四十七橋ある。うち、鋼橋が三十八橋、コンクリート橋が八橋である。いずれも建設後五十年未満である。

県が管理する橋の総数は、三

千八百二十一橋で、このうち千五百以上は一千四百三十八橋である。総数に対して五十年以上経過するものの割合は、二二%である。

② いじめは断固許さないとの市長の断固たる決意が必要である。そのためには市長から警察署長にも協力をお願いすべきである。いじめについて、子供さんも親御さんも、直接市長に相談していただきたい。このことを全保護者、全児童生徒に対して手紙を出したい。

「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願を採択

九月定例会市議会で受理した請願は三件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん

3件

▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願

- ・「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願（新潟県公立高等学校教職員組合執行委員長）
- ・「私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願（新潟県私学の公費助成をすすめる会会長）

ゆきとどいた教育の前進を求める意見書など五件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書五件を可決し、関係機関へ提出しました。その意見書の要約は、次のとおりです。

◎ゆきとどいた教育の前進を求める意見書

て教育費の父母負担軽減をする必要があり、高校無償化は維持するだけでなく、大きく拡充すべきです。

よって、下記の事項の実現を強く要望いたします。

記

- 一、国は、高校無償化の維持・拡充をすすめること。
- 二、国は、高校生・大学生に対する給付制奨学金制度をつくること。

◎私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書

平成二十二年四月から公立高校の授業料不徴収及び高等学校等就学支援金制度が施行され、保護者の経済的負担の軽減がはかられたところで、私立高校における学費の負担は、全国的に家計を圧迫しており、全国の高校生の三割が私立高校に通う状況の中で、私立高校生は学費の公私間格差という不公平状態に置かれています。

記

- よって、国においては、下記の事項について、特段の措置を講ずるよう強く要望いたします。
- 一、私学助成制度を拡充し、学費の公私間格差是正をすすめること。
- 二、学費軽減制度を拡充すること。

を拡充すること。

◎私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書

平成二十二年四月から公立高校の授業料不徴収及び高等学校等就学支援金制度が施行され、保護者の経済的負担の軽減がはかられ、また本県においては、独自の学費軽減がはかられました。しかし、私立高校における学費の負担は、いまだに家計を圧迫しており、県内高校生の二割が私立高校に通う状況の中で、学費の公私間格差という不公平状態に置かれています。

記

- よって、県においては、下記の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望します。
- 一、私学助成制度を拡充し、学費の公私間格差是正をすすめること。
- 二、学費軽減制度を拡充すること。
- 三、私立学校の耐震化助成を拡充すること。

効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林の公益的機能に対する国民の関心と期待は大きくなっています。

また、我が国は京都議定書における、温室効果ガス六%削減のうち、三・八%を森林吸収量により確保するとしています。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠です。しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足しています。

記

- よって、下記の事項の実現を強く要望いたします。
- 一、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、地球温暖化対策のための税の一定割合を、森林面積に応じて譲与する地方財源を確保・充実に努めること。

◎地球温暖化対策に関する地方財源を確保・充実に努めること

地球温暖化防止のための温室

9月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
2	ゆきとどいた教育の前進を求める意見書	原案可決
3	教育費無償化の前進を求める意見書	〃
4	私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書 (国)	〃
5	私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書 (県)	〃
6	地球温暖化対策に関する地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求める意見書	〃
市長提出議案		
54	専決処分の承認 (24年度一般会計補正予算第9号)	承認
55	専決処分の承認 (24年度一般会計補正予算第10号)	〃
56	専決処分の承認 (24年度一般会計補正予算第11号)	〃
57	24年度一般会計補正予算 (第12号)	原案可決
58	24年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	〃
59	24年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	〃
60	24年度介護保険特別会計補正予算 (第1号)	〃
61	24年度水道事業会計補正予算 (第1号)	〃
62	23年度水道事業会計決算の認定	認定
63	防災会議条例の一部改正	原案可決
64	災害対策本部条例の一部改正	〃
65	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更	〃
66	教育委員会委員の任命 (三浦伸一氏)	同意
67	教育委員会委員の任命 (永井榮子氏)	〃
68	固定資産評価審査委員会委員の選任 (古川良二氏)	〃
69	24年度一般会計補正予算 (第13号)	原案可決

連合審査会

九月二十四日に連合審査会を開催し、各常任委員会及び特別委員会に付託された議案九件について、総括質疑を行いました。

明を受け、質疑を行いました。

十月二日に全員協議会を開催し林道大皆川線事業計画について説明を受け、質疑を行いました。

十月二十二日に月例全員協議会を開催し、事務に関する説明書の質疑を行いました。

全員協議会

九月二十四日に全員協議会を開催し、市民福祉交流センター源泉ポンプの取替えについて説

議会日誌

〈8月〉

22日 中越地区議員研修会 (長岡)

〈9月〉

28日 県議長会定期総会 (佐渡)

〈10月〉

1日 定例市議会

2日 全員協議会

16日 社会厚生常任委員会

行政視察 (日進・天理)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

22日 月例全員協議会

議会だより編集委員会

各派交渉会

24日 産業建設常任委員会

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)

行政視察 (今治・三好)



次の定例会は 12月10日(月)から開催の予定です。